

通信小海

「喜びなさい。」

牧師 あらみ まこと
荒牧 実

パウロは、ピリピの教会へ宛てた手紙の中で「喜び」という言葉を十数回も使用しています。パウロが牢獄の中でこの手紙を書いたことを考えると、彼が勧めている「喜び」が状況に左右されないと、彼が湧き上がってくるものであることが分かります。普通、私たちの経験する喜びは、自分の願いがかなったなど外から受けることによつて生じるものです。例えば、社会人であれば昇格したとか、学生であれば成績が上がったとかで喜びを覚えるものです。しかし、それらの喜びは、逆の状況になった場合、悲しみに変わるものです。外から来る喜びは、環境や出来事に大きく影響され、その人の感情も振り回されてしまうのです。パウロが勧めている喜びとは、そのような外から来る喜びではなく、

【今月のひとこと】

「いつも主にあつて喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。」

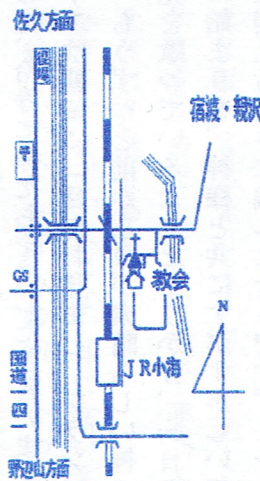
ピリピ人への手紙 4章4

内から溢れ出す喜びを意味しているのです。牢獄の中でも、パウロが喜ぶことできたのはなぜでしょうか。それは、彼が「主にあつて」喜んでいたからです。「主にあつて」という言葉をパウロは、何度も使用しています。「主にある」とは、主（イエス様）と人格的な関係をもつことです。私たちがイエス様との交わりを強めていくとき、まわりの状況によつて喜んだり悲しんだりさせられない安定した心をもつことが可能となります。それは、自分自身の存在をイエス様との関係において肯定的に受け止められるようになるからです。主から愛されている確信を持つとき、私たちはまわりの状況や評価に振り回されず、確固たる平安を自分のものとする事ができるのです。だからこそ、私たちは、聖書を読み、祈り、主（イエス様）がどのようなお方か、自分がどれほどイエス様から愛されているかを知る必要があるのです。聖書を

日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七
〒三八四・二〇二 Tel 0267・88・7169
〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

*初めての方も遠慮なくお越しください。

※当教会は正當なプロテスタントの教会であり、エホバの証人・統一協会とは一切関係ありません。

読まれる方、お読みになりたい方にお勧めしたいのは、一日のはじめに、静まる時を持つことです。忙しく仕事を始める前に、様々な思いで心がざわついてしまう前に。なぜなら、主の声はこの世のこと一杯になつてゐる心には響いてこないものだからです。一番に聖書のみことばが心に入ること、それが自分を守る盾となり、日毎の務めを果たす力となつて、平安と喜びが内から湧いてくるのを体験されるでしょう。イエス様との交わりは、一回限りのことではありません。パウロは、「いつも」主にあつて喜びなさいと勧めています。その時だけでなく「いつも」です。私たちの心に「いつも」主を守られ愛されている確信がある時、喜びも泉のように湧き上がる。聖書は語ります。人や自分を取り巻くあらゆる状況に左右されない平安と喜びを手にしたと思いませんか。この素晴らしい神様の恵みを、あなたも受け取ることができるのです。



連載

信仰の眼で読み解く絵画

岡山 敦彦 【著】

第二章 ミレー

〜農民画家としての信仰の生涯〜 ①



日本人好みの画家ミレーとキリスト教の関係はとても深いと言われます。特に、プロテスタント教会が、明治時代になつて盛んに伝道すると、敬虔な農夫夫婦が一日の厳しい労働を終えて、祈りを捧げている「晩鐘」は大いに活用され、好まれた絵画でした。ミレーの代表的な作品は「晩鐘」「落穂拾い」「羊飼いの少女」「種まく人」です。彼の絵画を観ると、フランスの昔ののどかな田園風景を思い起こし、私たちの心に郷愁を呼び戻してくれます。彼が生まれたのは、フランス北西部、コタンタン半島の最北端にあるグレイル村のグリュシーという小さな集落でした。貧しい村ではありましたが、ミ

レーの生家は村の中では比較的恵まれた家庭で、聖書を読む機会にも恵まれた環境で育ちました。家族は両親と祖母、彼を含めて八人の兄弟姉妹でした。ミレーをはじめとして子ども達の幼児期の世話を一手に引き受けていたのは祖母ルイズ・ジユムランでした。彼女は謙虚さを身につけ、思いはいつも神に向けられ、自分には厳しいけれど、隣人には親切を惜しまない人でした。教育方針は厳格でしたが、感情的に叱ることとはせず、神様を悲しませるような行為に對して、冷静に孫たちを諭したと言います。ルイズは朝毎に「目をお覚まし、フランソワ。もうずっと前から鳥が素晴らしい神の栄光を歌っているよ」と語りかけ、一日の朝の始まりを、神様と共にすがすがしい気分を迎えるように諭したそうです。ミレーはこのことを終生忘れることはなかったと言います。父のジャン・ルイは素朴で優しい人柄で、村人から尊敬されていました。教会にも熱心に通いながら、週日は朝早くから日没まで畑で働き、一日の初めと最後には神に感謝の祈りを捧げる。この姿が「晩鐘」のモデルとなりました。

（続く）

ニチニチソウ

日日草・日々想



「聴く耳を持つ」

「暴走」としか評されない政治の動きに、耳を疑うニュースが続いていきます。共謀罪法案に対する批判や指摘は、極めて正当な意見であるにも関わらず、なぜ立ち止まることができないのだらう？ プライバシーや表現の自由といった国民の人権を甚だしく侵害するのみならず、横行する政治や経済界の悪事にとつて都合の悪い法律は処罰対象外となるといふ。国会で参考人の意見が陳述されても、国連特別報告者からの書簡があつても、すべてはね退けてしまふ今の政府ほど「聴く耳持たず」を体現しているものはないと言えるのではないのでしょうか。

私には少し難しい英文でしたが、ケナタツ子氏の書簡を読む限り、紳士的・協力的な思慮深い言葉の一つ一つから、日本の政治家よりよほど日本のことを配慮して下さつていふと思ひました。懸念される事柄への率直な指摘が政府には痛かつたのでしよう。怒りの反論しかたきない国の代表の幼さが情けなく恥ずかしく、もしかして、言われていることの意味が本当に分からないのだらうか？ と疑いたくもありません。が、そうではなくて、問題は閉ざされている耳と良心の欠如、自分の信念という殻に閉じこもつていふ頑なさや正しいことを選択する時に伴う痛みを耐えられない弱さなのだと思ひます。

“人のふり見てわがふり直せ”と云うように、今の政府と同じ心の態度が自分の内にもないだらうかと反省しました。聖書の中にも、自分の考えや価値観、生き方にメスを入れられるような鋭く厳しい言葉が確かにあります。けれどもそれを「聴く」か「聴かない」か、痛みを耐えて受け入れるかどうかで、真理と

いう宝を手に来るか、今だけでなく、人生の結末までも変わつてくるのです。耳に痛い言葉ほど、聴くべき恵みの言葉なのだと思ひます。現代の政治家と同じく、かつての宗教指導者たちも、自分を中心にした正しさや信念に疑り固まつて、その耳は閉ざされていきました。「耳のある者は聞きなさい」とおつしやつたイエス様の言葉をことごとく拒絶し、自己矛盾を正当化したその姿は、罪ある人間全てに共通するものです。

私自身がまず、正当な、耳に痛い言葉を冷静に誠実に受け止め向き合つていけるようにと願ひます。その上で、完全に閉ざされているこの国の政治家達の耳が開かれ、立ち止まつて間違いを認め、向きを変えて歩みをおすことができれば、この事と戦つておられる方々が守られ、正しい道が開かれるよう、真剣に執り成し祈らなければならぬと思ひわされています。先行きを案じたら不安が尽きない現状であつても、全能なる神様には不可能はないことを確信して！

暮らしの

くすりばこ

《今月の処方箋》

◆植物の力を取り入れよう◆



今、注目されている「フィトケミカル成分」。テレビや雑誌などでも取り上げられることが多く、一度は聞いたことのある言葉だと思えます。「フィトケミカル成分」とは、植物中に存在する天然の化学物質のことです。独立栄養生物であり、生きる場所を移動できない植物が、自分の身を守るために植物自身の中で作り出した色素や香り、辛み、苦味などに含まれる機能性成分で、代表的なものにポリフェノールやカテキン、カロテン、リコピン、イソフラボンなどがあります。抗酸化作用や抗菌作用に優れるため、私たちの健康維持・改善や美容増進に効果が期待できる他、香りや複数の成分

が相乗的に働き、生理作用や心理作用などとして、心身のさまざまな不調に役立てることが出来ます。

野菜や果物のみならず、身近に咲いている草花にも、注目すべき驚きのパワーがあるんです！漢方やハーブ、スパイスとして、日本でも諸外国でも昔から取り入れられてきた植物の力を改めて知ると、森や原っぱ、自然そのものが薬箱のようだと思えてきます。体調を整えて健やかに暮らす秘訣は、野の草花の存在を感謝しながら、自然に帰る生活なのかもしれません。

ハーブティーやジュースにして飲んだり、芳香剤や入浴剤として取り入れたり。先日おすそわけして頂いたヨモギのお茶、美味しかったなあ…活用法も様々、種類も多数で、すべてをご紹介することは出来ませんが、興味のある方は、ぜひ書籍やインターネットなどで調べてみてくださいね♪



毎月第3土曜日

★ハレルヤキッズ★

6月は17日です★

遊びに来てね

～

路上生活者支援

山谷（やま）農場

ご協力ありがとうございます

これからの時期はお米に虫がわいてしまうため、しばらくの間、受付をご遠慮させて頂きます。未使用切手やハガキ、割り箸や海苔、梅干し、野菜などは、続けてどうぞよろしくお願いいたします。



〈連絡先〉 藤田 寛

☎ 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.oon.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384・1302南牧村大字海ノ口966・15南牧村社会福祉協議会 会気付 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局（藤田）小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ：〒振替〇〇二四〇・四・五三七九六